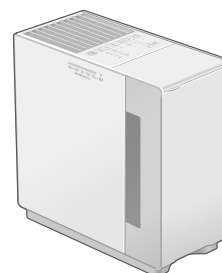


取扱説明書

気化式加湿機

品番 FE-KFP05

品番 FE-KFP07



もくじ

ページ

安全上のご注意	2
設置するときのお願い	4
使用上のお願い	4
各部の名前	5
準備する	6

確認・準備

使い方	8
・お手入れランプが点灯したとき	11

使い方

お手入れする	12
・加湿フィルター交換の目安	14
・長期間使わないとき	14

お手入れ

別売品	14
こんなときは	15
・ふたが外れたとき	15
・フロートが外れたとき	15
もっと知りたいとき	16
よくあるお問い合わせ	17
故障かな!?	18
保証とアフターサービス	19
仕様	裏表紙

必要なとき

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～3 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

特典

- お宅の家電商品、消耗品情報が一元管理できる!
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる!
- 登録すると抽選で商品券などが当たる!

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

火災や感電などを防ぐために

異常・故障時は



■異常時・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く

(発煙・発火・感電の原因)

＜異常・故障例＞

- ・水漏れする。
- ・電源コードを動かすと、運転が止まる。
- ・運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- ・本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする

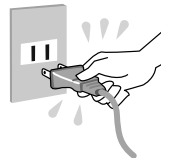
→すぐに運転を止め、コンセントから電源プラグを抜き、販売店へ点検を依頼してください。

電源プラグは



■ぬれた手で抜き差ししない

(手に付いた水で感電の原因)



■根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)

- ・傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ホコリなどは、定期的に取り除く

(ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因)

- ・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- ・長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

設置・移動するときは



■持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない

(コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因)

電源プラグやコードは



■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない

- ・傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど。
(ショートなどによる感電や火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。

本体は



■分解や修理、改造をしない

(異常動作によるけが、感電や火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。



■吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない

(内部に触れると、感電やけがの原因)



■水につけたり、水をかけたりしない

(ショートなどによる感電や火災の原因)

お手入れは



■お手入れ時は、電源プラグを抜く

(不意に作動して、感電やけがの原因)

注意

設置・移動するときは

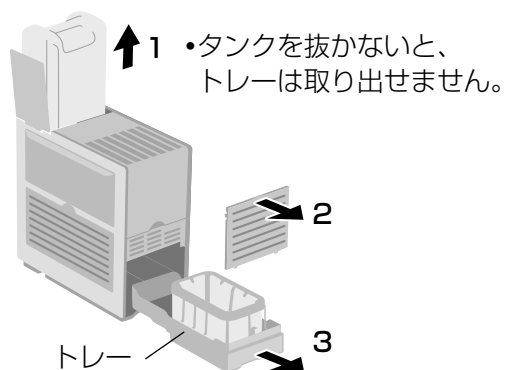


- 不安定な場所に置かない
(転倒すると、水がこぼれて感電や火災の原因)
• 転倒したときは、水をふき、十分に乾かしてから電源プラグを差し直してください。

- ふたを持って持ち運ばない
(落下してけがの原因)



- 移動するときは運転を止め、タンクを抜いてトレーの水を捨てる
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)



次のことをしない

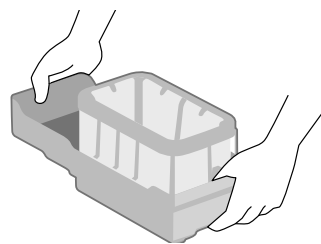


- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどをタンクやトレーに入れない
(タンク、トレーが破損して家財などをぬらす原因)

- 本体を倒さない
(水がこぼれて感電や火災の原因)

- 本体に座ったり、上に乗らない
(転倒によるけがの原因)
• とくに小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

- トレーを運ぶときは、フィルター枠を持たない
(落下してけがの原因)



電源プラグを抜くときは



- プラグ部を持って抜く
(コードが破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)

本体は

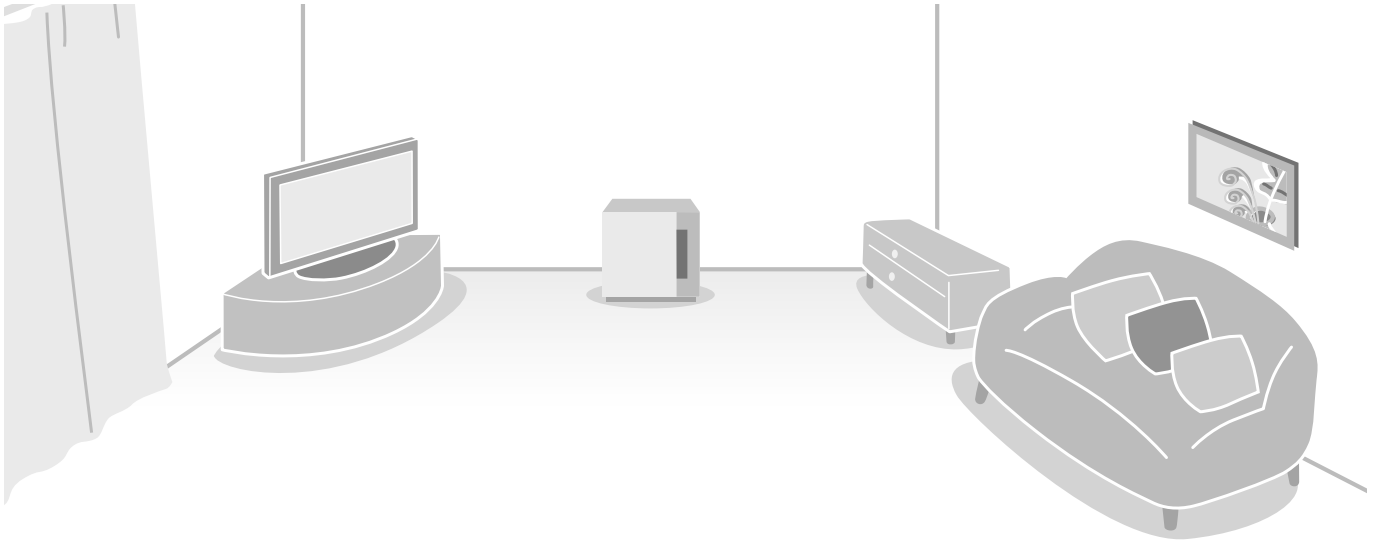


- 穴があいたり、破損したタンクは使用しない
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)



- タンクの水や本体内部は、常に清潔にする
• タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換えてください。
• 本体内部は、定期的にお手入れしてください。
(汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、まれに健康を害する原因)
→ 体調に異常があったときは、医師にご相談ください。

設置するときのお願い



■こんな場所には置かない

- 窓際、エアコンの風が当たる場所(湿度センサーが正しく働かない原因)
- 直射日光や暖房機の熱が当たる場所(変形や変質、変色の原因)
- カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所(誤動作や故障の原因)
- 吹出口の風が家具や壁に直接当たる場所(シミの原因)
- テレビやラジオの近く(映像の乱れや雑音の原因)
→ 1 m以上離して置いてください。

使用上のお願い

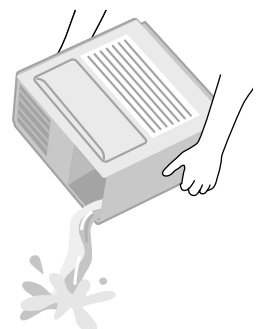
■凍結のおそれがあるときは、タンクとトレーの水を捨てる

(水が凍結した状態で運転すると、故障の原因)

■本体の上に、物を載せない (誤動作や故障の原因)

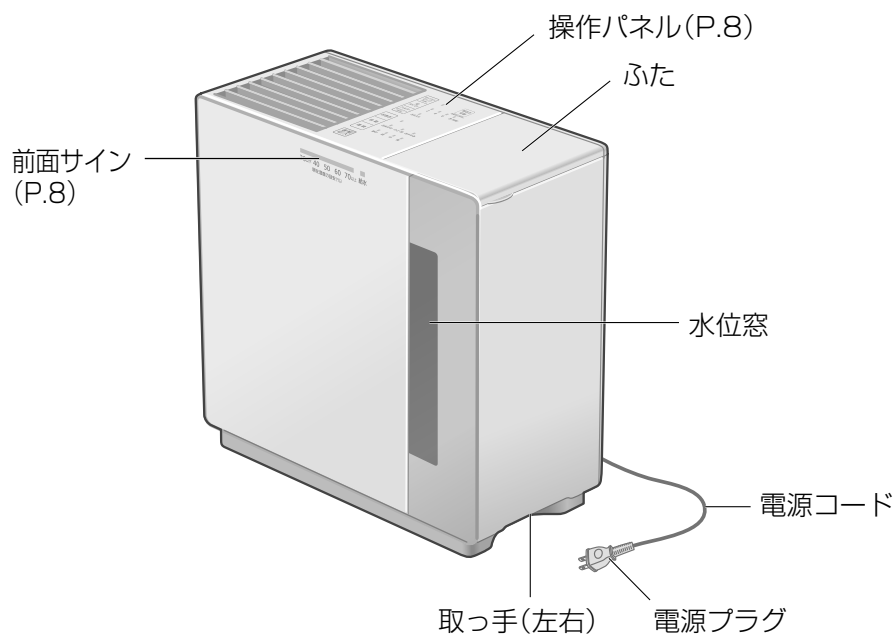


■排水は、トレーを取り出してから行い、本体から直接、排水しない (本体内部に水が入り、故障の原因)

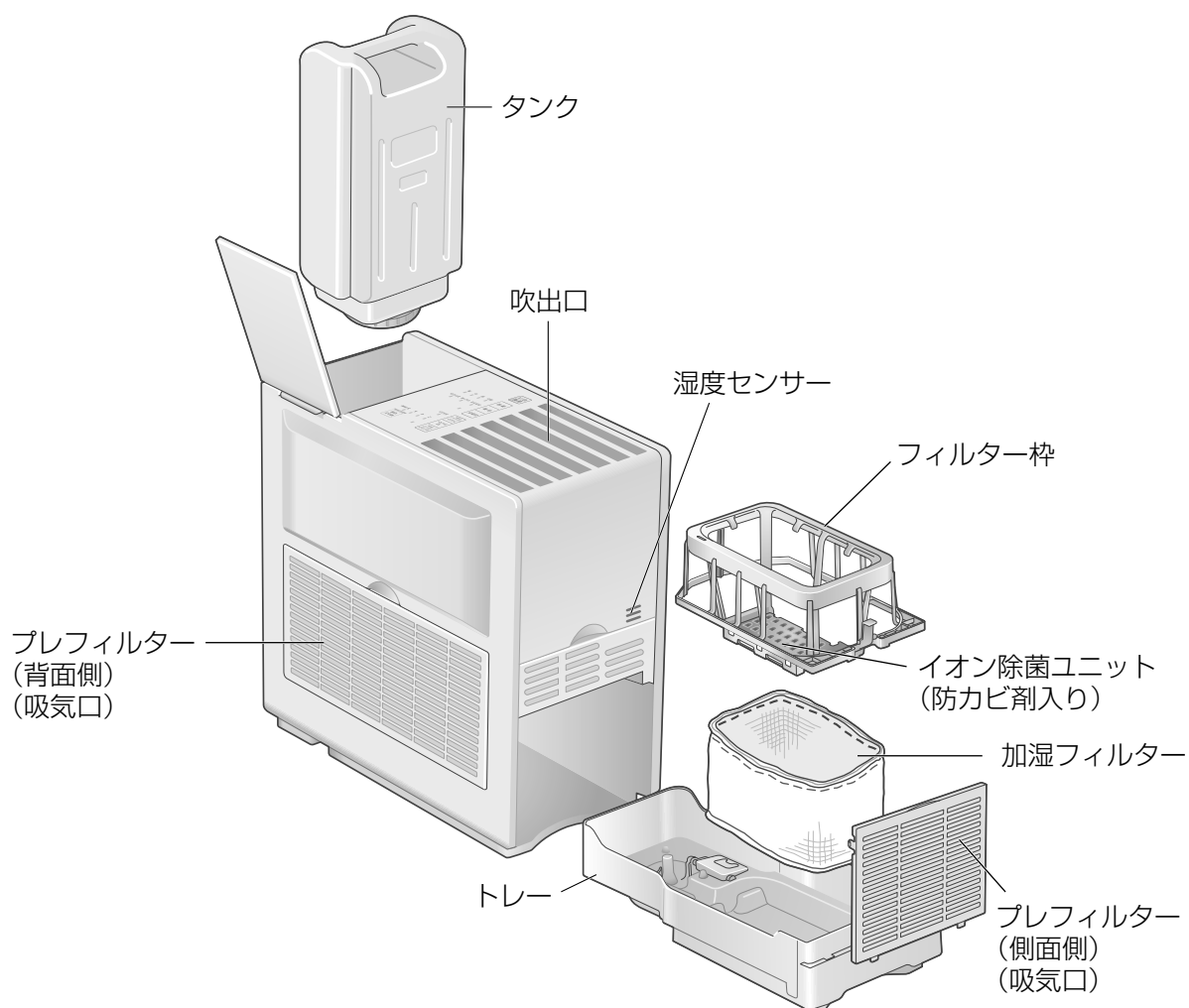


各部の名前

前面



背面

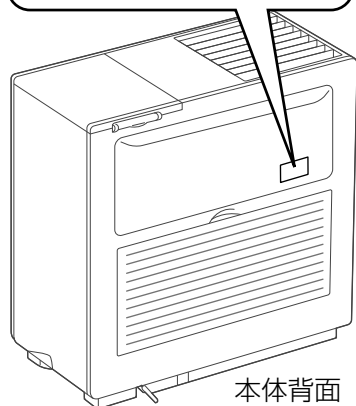
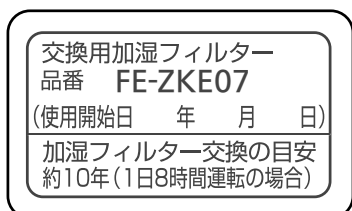


準備する

設置の前に

タンクに水を入れる

1 使用開始日を記入する

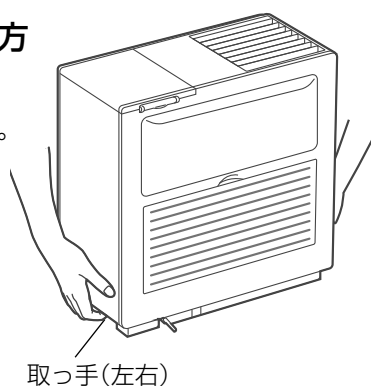


お願い

- 設置の前に必ずP.2～4を参照してください。

■ 本体の持ち方

両手で左右の
取っ手を持つ。

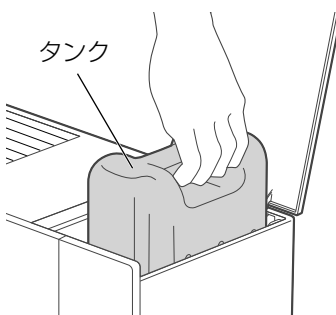
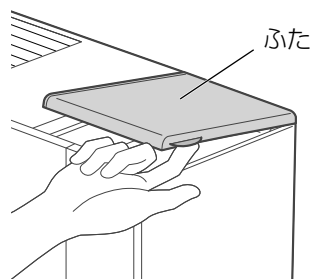


⚠ 注意



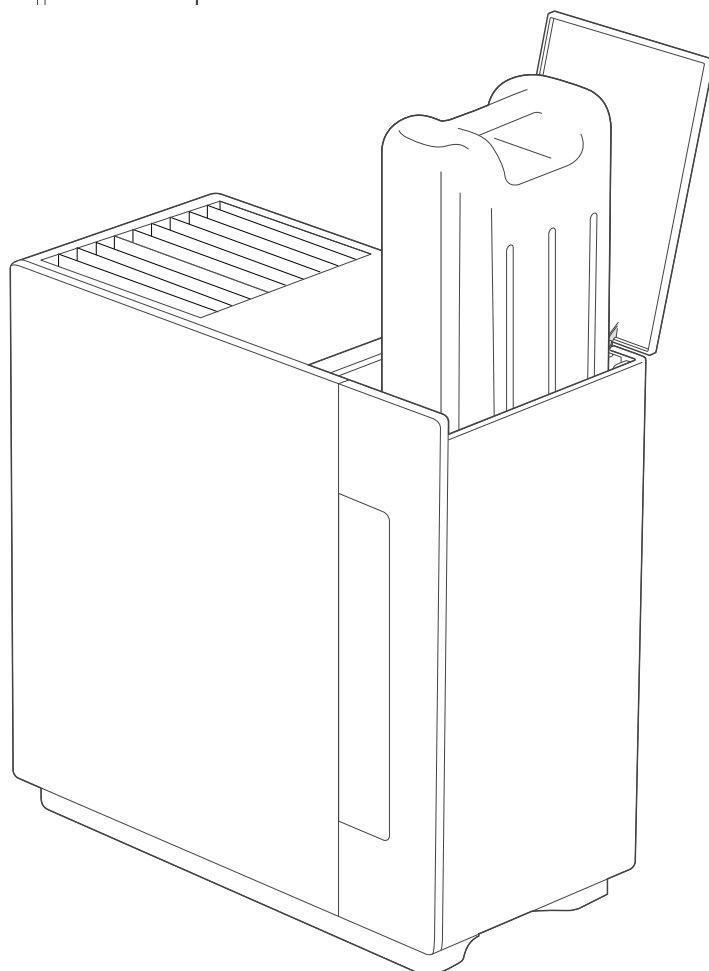
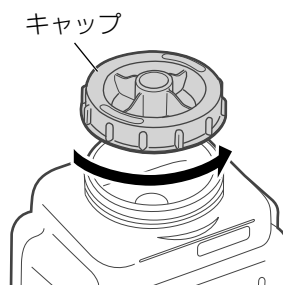
- 移動するときは運転を止め、
タンクを抜いてトレーの水を
捨てる
(水がこぼれて家財などを
ぬらす原因)

2 ふたを開け、 タンクを取り出す



3 タンクに水を入れ、 本体に戻す

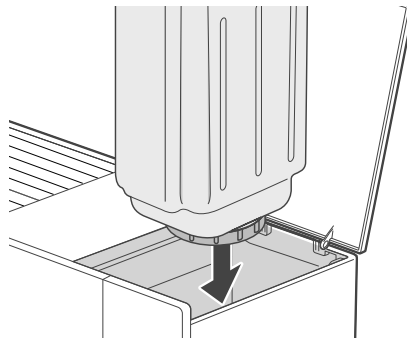
- ① キャップを外す。



②水を入れ、キャップを
しっかり締める。



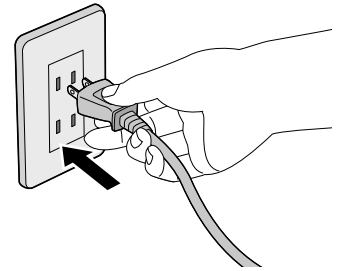
③タンクを元に戻し、
本体のふたを閉める。



タンクは左右ど
ちらの向きから
でも入れること
ができます。

4 電源プラグを 差し込む

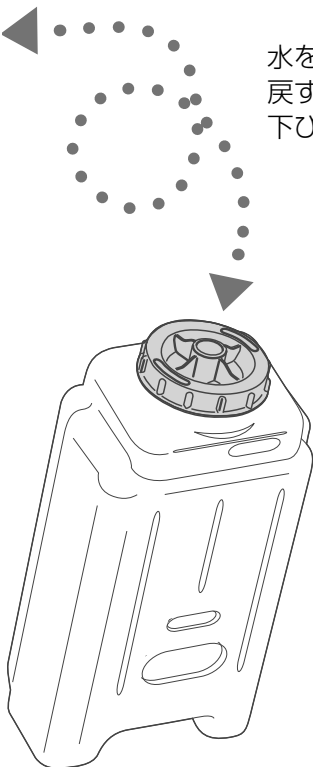
(差し込む前に、電源プラグ
や手に付いた水はふく)



●湿度サイン(P.8)が点灯
し、現在湿度の目安をお
知らせします。

確認・準備

水を入れるときや本体に
戻すときは、タンクを上
下ひっくり返す。



■必ず、水道水(飲用)を使う！

(一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくい)

●次のような水は、使わない。

- 40℃以上の温水や洗剤を入れた水(変形や故障の原因)
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水(破損して家財などをぬらす原因:P.3)
- 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水(カビや雑菌が繁殖する原因)

お願い

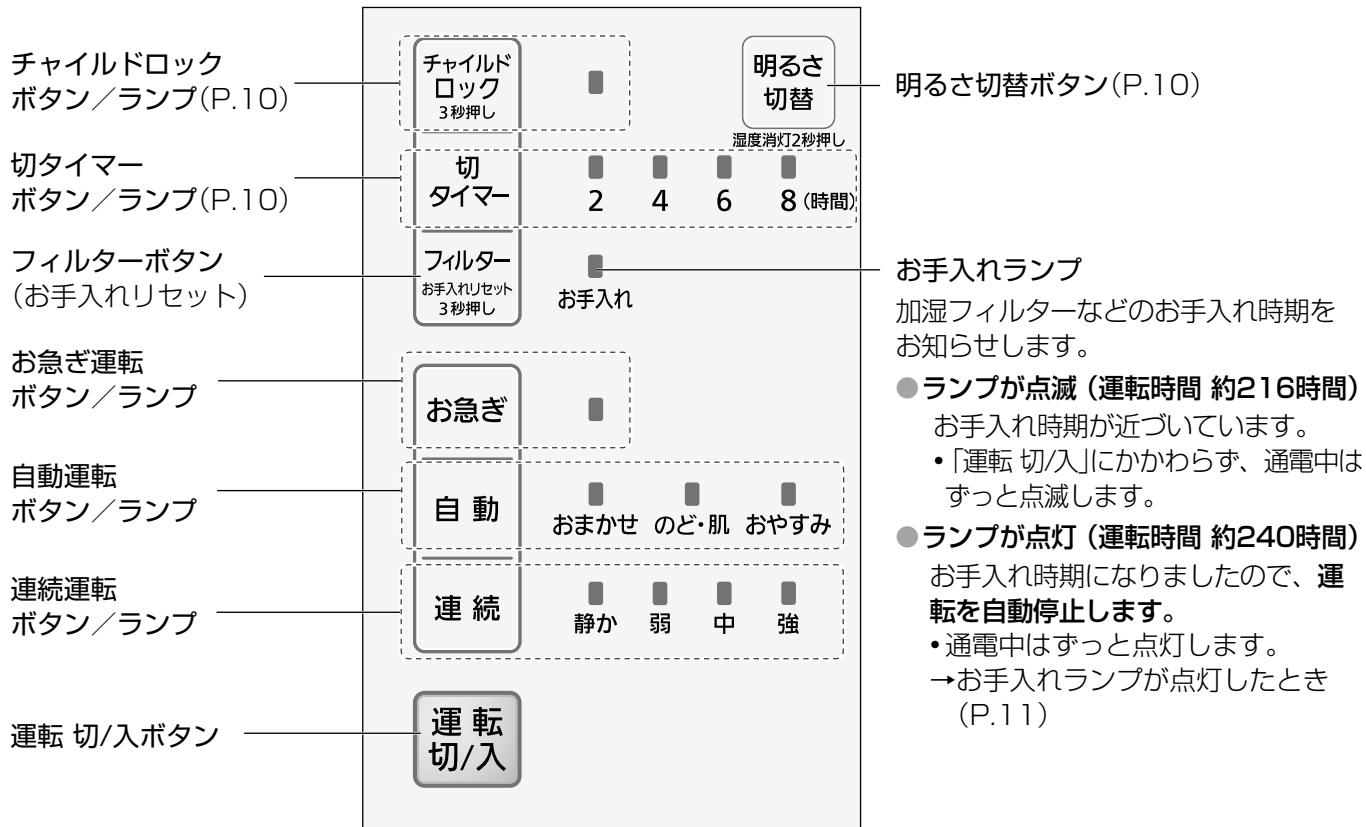
- やむを得ず井戸水(飲用)を使うときは、トレー、加湿フィルター、フィルター枠のお手入れ回数を増やしてください。

■タンク1杯分の連続運転可能時間

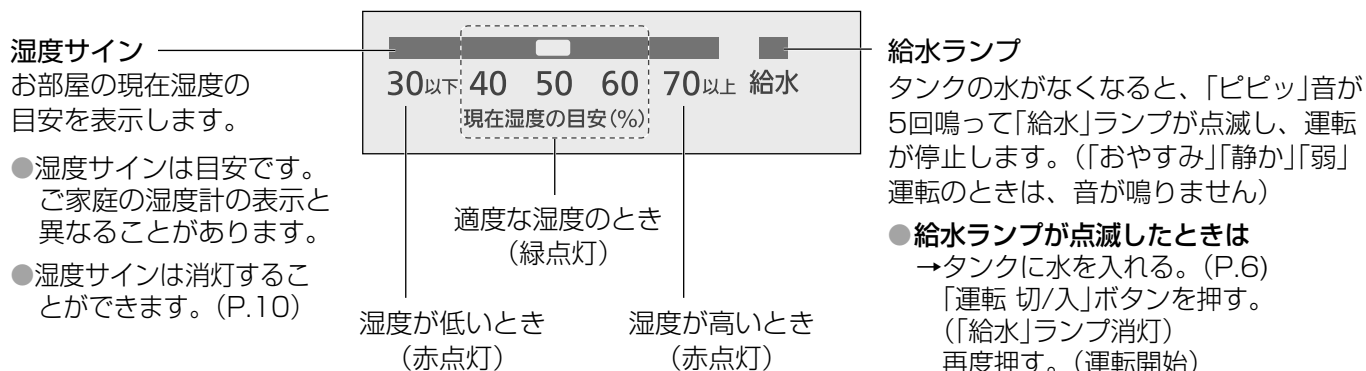
- FE-KFP05・・・約8.4時間
- FE-KFP07・・・約6時間
(連続「強」運転/室内の温度が20℃、湿度が30%の場合)

使い方

操作パネル



前面サイン



自動運転／連続運転／お急ぎ運転

1

運転を始める

運転
切/入

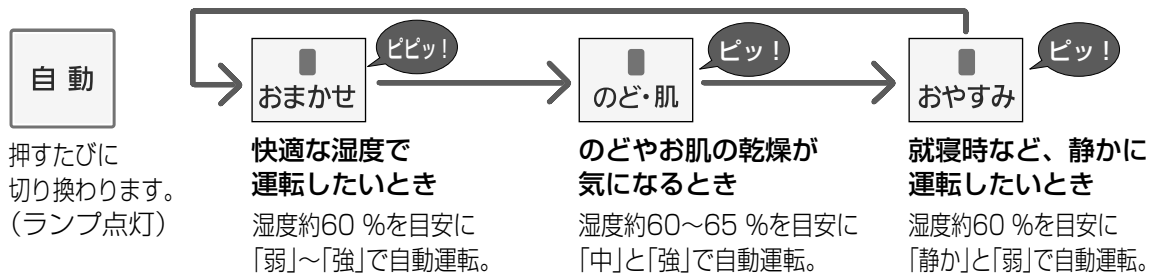
を押す

2

運転モードを選ぶ

自動運転（おまかせ／のど・肌／おやすみ）（P.16）

お部屋の湿度に応じて、センサーで運転を自動制御します。

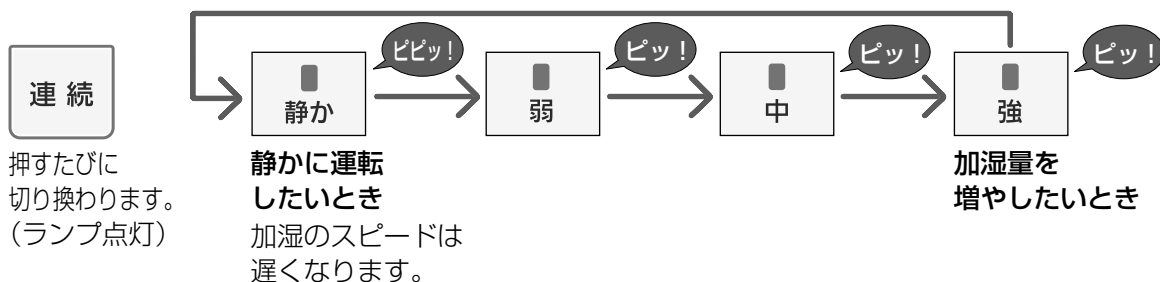


お知らせ

- 湿度が高い場合でも、センサーを安定させるために、運転開始後最長約7分間、送風することがあります。
- お部屋の状況によっては、目安の湿度にならないことがあります。（P.17 Q6、P.18 ⑤）

連続運転（静か／弱／中／強）

お部屋の湿度に関係なく、それぞれの風量で連続運転します。



お急ぎ運転

すばやく加湿したいとき。

お急ぎ



約30分後に元の運転に戻ります。

を押す。

（ランプ点灯）

3

運転を止める

運転
切/入

を押す

使
い
方

使い方 (つづき)

チャイルドロック／切タイマー／ 明るさ切替




チャイルドロック

お子さまのいたずら操作を防止します。



を約3秒押す。(ランプ点灯)

- 設定後に  以外のボタンを押すと、警告音が鳴り、操作はできません。

■解除するとき

- 再度、約3秒押す。(ランプ消灯)

切タイマー

設定した時間に自動で運転が止まるようにします。



を押して選ぶ。(ランプ点灯)

- 押すたびに切り換わります。
- 時間の経過とともにランプが切り換わり、残り時間の目安を表示します。
- 設定前に、タンク水量を確認してください。(水量が少ないと、設定時間前に運転が停止することがあります)

■解除するとき

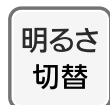
- 解除(ランプ消灯)になるまで「切タイマー」ボタンを押す。

お知らせ

- タンクが満水でも運転モード、室内の温度や湿度によっては設定時間前に水がなくなり、運転が停止することがあります。

明るさ切替

就寝時など、ランプの明るさが気になるときに暗くできます。



を押す。

(全ランプ減灯)

■解除するとき

- 再度押す。

■湿度サインを消灯するとき

約2秒押すと、湿度サインが消灯します。再度約2秒押すと、湿度サインが点灯します。

お手入れランプが点灯したとき（お手入れリセット）

お手入れ時期になると「お手入れ」ランプが点灯して、運転を自動停止します。



- 「運転 切/入」ボタンを押しても運転できません。
- 通電中はずっと点灯します。
- 以下の手順でお手入れをしてください。
 - ①コンセントから電源プラグを抜く。
 - ②タンク、プレフィルター（側面側）を外してから、トレーを取り出す。
 - ③プレフィルター、加湿フィルター、フィルター枠、トレーをお手入れ（P.12、13）して、本体に取り付ける。
 - ④電源プラグを差し込み、「フィルター」ボタンを約3秒押し、「お手入れ」ランプを消す。（お手入れリセット）

お願い

- 「お手入れ」ランプの点灯時期より早くお手入れをされた場合も、「フィルター」ボタンを約3秒押ししてください。（運転時間の積算をリセットします）
- お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。

お手入れする

■「お手入れ」ランプが点灯したとき、または各部品の所定の期間ごとに行ってください。

下記の場合は、「お手入れ」ランプが点灯する前や所定の期間前でも、お手入れしてください。

●ニオイがする。 ●水が減りにくい。 ●トレーの水が変色する。(白くにごる場合は問題ありません:P.17 Q7)

■お手入れ後は電源プラグを差し込み、「フィルター」ボタンを約3秒押してお手入れリセットをしてください。(P.11)

お手入れの前に



警告



お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)

タンク <毎日>

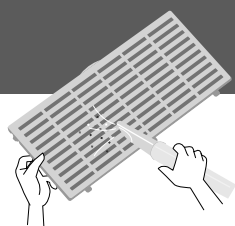
水洗いする

- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の
使い方(P.14)」参照。



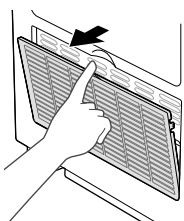
プレフィルター <約 1 か月に 1 回>

掃除機などで 汚れを取る

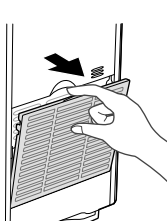


取り外し方

(背面側)

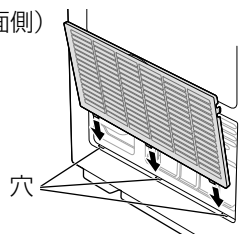


(側面側)

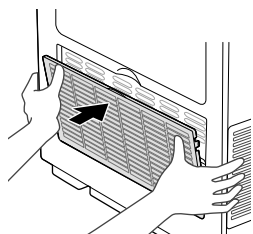


取り付け方

(背面側)



穴



①突起を本体の穴に
差し込む。

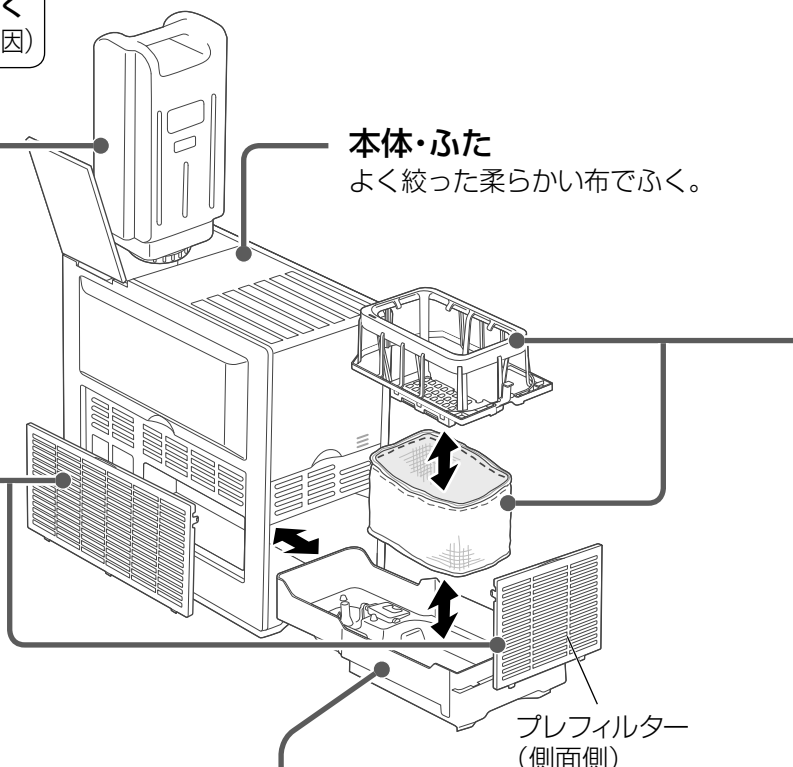
②「カチッ」と音が
するまで押し込む。

側面側のプレフィルターも同様に取り付ける。

- プレフィルターを外したまま運転しないでください。
(吸ったホコリが本体内部に入り、故障する原因)
- 破損した場合は、交換してください。(別売品:P.14)

本体・ふた

よく絞った柔らかい布でふく。



プレフィルター
(側面側)

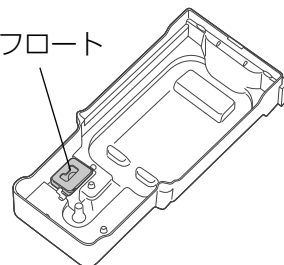
タンク・プレフィルター(側面側)
を外さないと、トレーは取り出
せません。

トレー <約 1 か月に 1 回>

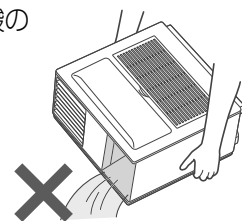
水洗いする

- 細部の汚れは、綿棒や
歯ブラシなどで落とす。
- フロート(発泡スチ
ロール)は、外さない。
(外れたときは→P.15)
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の
使い方(P.14)」参照。

フロート



- 排水は、トレーを取り出して
から行い、本体から直接、
排水しない。(本体内部に水
が入り、故障の原因)



- 台所用中性洗剤以外の洗剤は使わない。
(樹脂部品の変質・変色・破損の原因)
- 加湿フィルターのみ、酸素系漂白剤をお使いになれます。
- 化学ぞうきんは、その注意書きに従って使う。



加湿フィルター・フィルター枠 <約 1 か月に 1 回>

■ 加湿フィルター

水かぬるま湯で押し洗いする

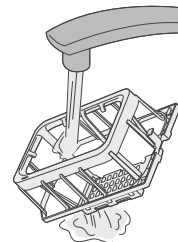
- ブラシなどでこすったり洗濯機で洗ったりしない。
- 乾燥機で乾かさない。(縮みの原因)
- お手入れ後、すぐに使う場合は、ぬれたままで構いません。
- しつこい汚れやニオイが気になるときは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.14)」参照。



■ フィルター枠

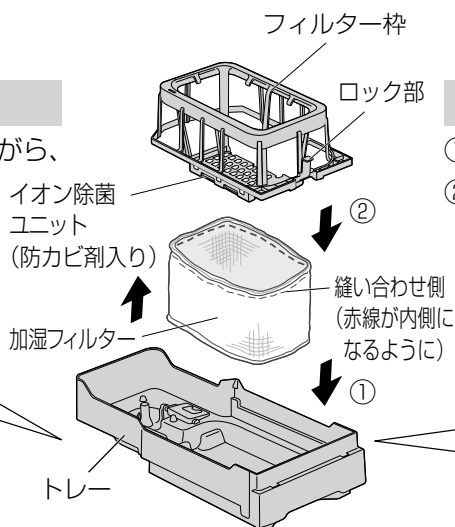
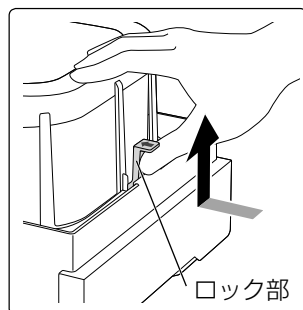
水洗いする

- イオン除菌ユニット(防カビ剤入り)は分解しない。
- しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.14)」参照。



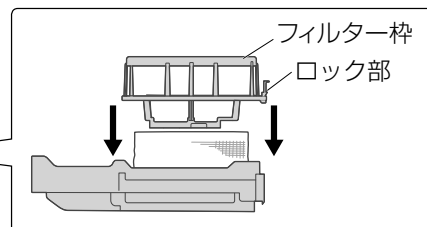
取り外し方

フィルター枠のロック部を押しながら、上に持ち上げる。



取り付け方

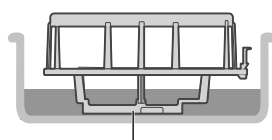
- ① 加湿フィルターをトレイに入れる。
- ② フィルター枠を加湿フィルターの上からかぶせ、ロック部がカチッと音がするまで下へ押し込む。



イオン除菌ユニット(防カビ剤入り) <約 1 か月に 1 回>

加湿機用洗剤などでつけ置き洗いする

- 「加湿機用洗剤またはクエン酸の使い方(P.14)」参照。
- ブラシなどでこすったり強く押ししたりしない。



イオン除菌ユニット部

イオン除菌ユニット部はフィルター枠から取り外せないため、ユニット部分のみをつけ置きしてください。

お知らせ

- 加湿フィルターはお手入れしないと縮むことがあります。
- イオン除菌ユニット(防カビ剤入り)から白い粉が出たり、黒い粉が落ちることがありますが、性能や使用上の問題はありません。
- 防カビ剤は使用とともに小さくなりますが、防カビ性能は問題ありません。
- 防カビ剤特有のニオイがすることがありますが無害です。

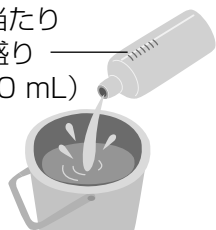
お手入れする (つづき)

加湿機用洗剤 または クエン酸 の使い方

(別売品: 下記参照)

■ 加湿機用洗剤

2 L 当たり
1 目盛り
(約 20 mL)



■ クエン酸

3 L 当たり
2 パック (20 g)
または、大さじ
すりきり 2 杯



水か、ぬるま湯(約 40℃ 以下)で、よく溶かす

- 濃度が高いと、破損の原因になります。
- 台所用中性洗剤もお使いになれますが、ニオイや汚れが落ちにくいことがあります。

<ul style="list-style-type: none"> ● タンク ● フィルター枠 	<ul style="list-style-type: none"> ● トレー 	加湿機用洗剤などを溶かした水で洗う
(イオン除菌ユニット部)		つけ置きする
● 加湿フィルター		つけ置き後、押し洗いする*

<つけ置きのしかた>

加湿機用洗剤などを溶かしたぬるま湯に部品を入れて約 30 分放置する。

- 加湿機用洗剤などを使ったときは新しい水で 2 ～ 3 回すすぎ洗いをする。クエン酸はすすぎが不十分だとニオイや故障の原因になります。

※ 加湿フィルターのみ、ニオイが気になるときは酸素系漂白剤でつけ置きしてください。
(使用量は漂白剤の説明書をご確認ください)

加湿フィルター交換の目安

(別売品: 下記参照)

- 約 10 年に 1 回です。(1 日 8 時間運転の場合)
ただし、水質により寿命が変わるため、次の場合は交換してください。
・お手入れしても、ニオイが取れない。 ・タンクの水が、減らない。 ・傷みがひどい。
- 加湿フィルターは不燃物として捨ててください。ただし、フィルター枠は、捨てないでください。

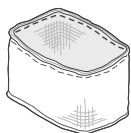
長期間使わないとき 保管方法

- ① コンセントから電源プラグを抜く。(停止時も電力を消費するため)
- ② タンクとトレーの水を捨て、すべてのお手入れをする。(P.12、13)
- ③ 内部をよく乾かす。(さびの発生による故障を防ぐ)
・加湿フィルターは、十分に陰干しして乾かす。(カビの発生を防ぐ)
- ④ ポリ袋などをかぶせ、湿気の少ない所に立てて保管する。(寝かせたり、逆さにして保管すると、故障の原因)

別売品

(希望小売価格は 2017 年 9 月現在)

■ 交換用加湿フィルター



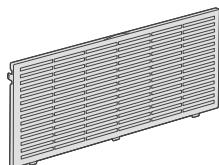
フィルター枠は付いていません。

品番: FE-ZKE07
希望小売価格: 4,500 円(税抜)

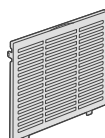
サービスパーツ

お取り寄せになります。

■ プレフィルター



- 背面側
部品品番: FKA0330182
希望小売価格: 1,900 円(税抜)



- 側面側
部品品番: FKA0330194
希望小売価格: 1,200 円(税抜)

■ 加湿機用洗剤 (400 mL)

部品品番: FE-Z40HV
希望小売価格: 600 円(税抜)

■ クエン酸 (10 g × 5 パック)

薬局などでも市販のクエン酸をお求めになれます。

部品品番: FKA2000005
希望小売価格: 200 円(税抜)

別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でもお買い求めいただけます。

パナソニックグループのショッピングサイト

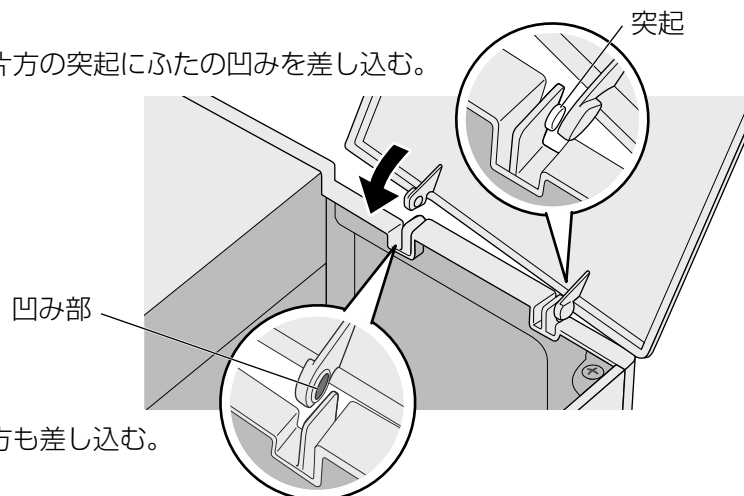
Panasonic Store

<http://jp.store.panasonic.com/>

こんなときは

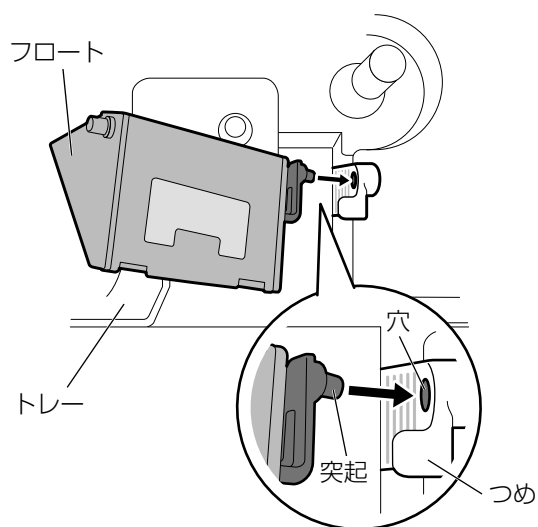
ふたが外れたとき

①本体の片方の突起にふたの凹みを差し込む。

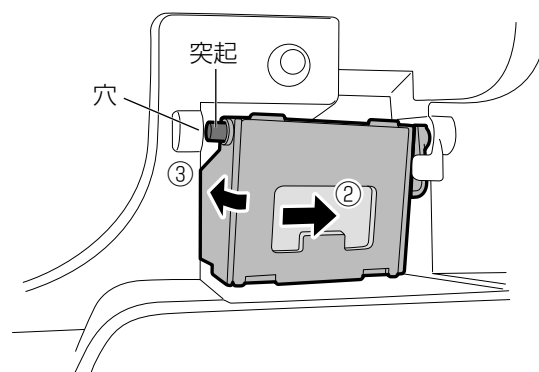


②もう片方も差し込む。

①フロートの突起をトレイのつめの下に入れ、
穴に差し込む。



②フロートを矢印方向に押しながら、
③反対側の突起も穴に差し込む。



お手入れ

必要なとき

もっと知りたいとき

イオン除菌ユニット(防カビ剤入り)の働き

トレー内を清潔に保ちます。

除菌 試験依頼先：(一財)日本食品分析センター
除菌の方法：イオン除菌ユニットに接触
第 207021879-001

試験方法：標準寒天培地を用いた寒天平板培養法により確認

対象：イオン除菌ユニットを配置したトレー内の水

試験結果：24 時間で 99 %以上抑制

試験は 2 種類の菌で実施

防カビ 試験依頼先：(財)日本紡績検査協会
防カビの方法：防カビユニットをトレー
内に配置
第 09006504-1

試験方法：防カビ試験方法(ハロー法)にて確認

対象：トレー内の加湿フィルター

試験結果：抑制を確認

自動運転モード別の加湿のしかた

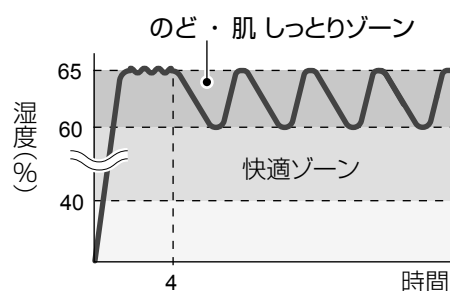
■「おまかせ」「おやすみ」運転のとき

約 60 %の湿度を保つため、自動的に加湿したり、止まったりします。

■「のど・肌」運転のとき

最初の 4 時間は、約 65 %の湿度を目安に運転します。

4 時間を過ぎると、自動的に加湿したり、止まったりし、約 60 ~ 65 %の湿度を保ちます。



•お手持ちの湿度計の表示と、差が出る場合があります。

よくあるお問い合わせ

お問い合わせや、修理を依頼される前に、まずご確認ください。

Q1 風がつめたい？

A

水を含んだ加湿フィルターから湿気が出るとき、空気中の熱を奪うため、室温より低い温度の風が出ます。
●吹出口から約30 cm上で室温より約3℃低い風が出ます。(室温20℃、湿度30%の場合)

Q2 加湿中、湯気は出ないの？

A

水を沸とうさせる方式ではなく、水を含んだ加湿フィルターに、風を当てて湿気を出す方式のため、湯気は出ません。

Q3 加湿量が少ない？

A

梅雨時の湿度が高いときや寒い日に、洗濯物が乾きにくいと同じで、お部屋の温度や湿度によって、加湿量が変化します。暖かくて乾燥しているほうが加湿量は増えます。

Q4 窓や壁が結露する？

A

お部屋が適度な湿度でも、温度が低い窓や壁などでは、結露することがあります。

Q5 加湿フィルターが変色する？

A

水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。

Q6 湿度サインが「赤」のまま変わらない？

湿度サイン



■ 70以上 が点灯したままのとき

- 設置場所により、湿度を正しく感知しないことがあります。
→設置場所を変えてください。(P.4)

■ 30以下 が点灯したままのとき

- 部屋が、適用床面積より広すぎませんか？
→適用床面積をご参照ください。(裏表紙)

A

お知らせ

- 湿度サインは目安にしてください。
- ご家庭の湿度計の表示と、異なることがあります。
- 湿度は、温度の変化に応じて値が変わります。
- 空気の流れが良い所と悪い所では、湿度が異なることがあります。

Q7 トレーの水が白くにごる？

A

イオン除菌ユニット(防カビ剤入り)の垂鉛が酸化するため、異常ではありません。

故障かな!?

まず、次の確認をしてください。

それでも直らないときは、必ず、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

修理をご依頼の際には、タンクとトレーの水を捨て、内部および加湿フィルターをよく乾かしてください。
(さびの発生による故障を防ぐため)

こんなときは	ここを確かめてください
① 運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「お手入れ」ランプが点灯していませんか？ → 各部品をお手入れして(P.12～14)、「フィルター」ボタンを押してください。(P.11) お手入れしないで使い続けると、加湿量が低下したり、ニオイの原因になります。
② 風の出が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● プレフィルター(吸気口)が、ホコリで目詰まりしていませんか？ → 目詰まりを取り除いてください。(P.12) ● 加湿フィルターに、水あかやゴミが付いていませんか？ → 水あかやゴミを取り除いてください。(P.13、14)
③ ニオイがする タンクの水が減らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 加湿フィルターに、水あかやゴミが付いていませんか？ → 水あかやゴミを取り除いてください。(P.13、14) ● トレーが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか？ → トレーをお手入れして、汚れを落としてください。(P.12、14)
④ 音がする	<ul style="list-style-type: none"> ● タンクから水が流れ落ちるとき、空気の抜ける「ポコポコ音」がすることがありますが、異常ではありません。
⑤ 運転ランプが点灯しているのに加湿しない 部屋の湿度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 湿度サインが「70 %以上」になっていませんか？(P.8、17) → 自動運転は、快適湿度を保つため、「70 %以上」では加湿をしすぎないように、加湿運転を停止しています。 ● 加湿フィルターは、正しく取り付けられていますか？(P.13) → はみ出して取り付けしていると、加湿していないことがあります。 ● 部屋が、適用床面積より広すぎませんか？(裏表紙) ● 換気をしたり、床がじゅうたん敷きではありませんか？ → じゅうたん敷きの場合や、換気状態・床や壁の材質によっては、湿度が上がりにくいことがあります。
⑥ タンクに水が入っているのに、「給水」ランプが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● トレーは、奥まで確実に取り付けられていますか？ ● 本体が傾いていませんか？ → 水平で安定した、台や床の上に設置してください。 ● フロートが正しく取り付けられていますか？(P.15)
⑦ トレーを本体に取り付けにくい	<ul style="list-style-type: none"> ● 加湿フィルター、フィルター枠は、トレーに確実に取り付けられていますか？(P.13) → 正しく取り付けていないと、トレーを本体に取り付けにくい(外れにくい)ことがあります。
⑧ 電源プラグを抜いたときに、サインやランプがすぐに消えない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体に残っている電気でサインやランプが点灯しています。 → しばらくすると消えます。
⑨ 運転が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ● ボタンを8秒以上押し続けると、安全のため運転を停止します。「運転 切/入」ボタンを押すと、再度運転を開始します。

次のときは、すぐに販売店へ。

⑩ 「連続運転」ランプが全点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体が故障しています。 → コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。
-------------------	--

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「よくあるお問い合わせ」「故障かな!？」(17～18ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	気化式加湿機
●品 番	FE-KFP05 / FE-KFP07
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(ただし、プレフィルター、加湿フィルターは、消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、この気化式加湿機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

フィルターなどの消耗品（別売品）とは異なります。

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

必要なとき

仕様

品番	FE-KFP05					FE-KFP07				
電源	交流100 V 50/60 Hz									
運転モード	お急ぎ	強	中	弱	静か	お急ぎ	強	中	弱	静か
消費電力(W) ※1	8	6	4.5	3.5	1.6	16	11	6	3.5	1.6
運転音(dB)	36	31	26	22	15	44	39	31	22	15
加湿量※2(mL/h)	600	500	420	330	150	800	700	500	330	150
適用床面積 (連続「強」運転時)	木 造 和室14 m ² (8.5畳) プレハブ 洋室23 m ² (14畳)					木 造 和室20 m ² (12畳) プレハブ 洋室32 m ² (19畳)				
タンク容量	約4.2 L									
コードの長さ	1.5 m									
製品寸法 (幅×奥行き×高さ)	375 mm×180 mm(+背面凸部10 mm) ×375 mm									
製品質量	約4.7 kg									

※1 運転が「切」のときの消費電力は、約0.3 Wです。(電源プラグを差し込んでいる状態)


※2 室内温度20℃、湿度30%の環境における加湿量です。室内の温度や湿度によって、加湿量は変わります。(P.17)

- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。
また、アフターサービスもできません。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

<p>? 空質・電池・暖房 使い方・お手入れなどのご相談窓口</p> <p>フリーダイヤル 0120-878-698 受付時間 9:00~20:00 (年中無休)</p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236</p> <p>Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)</p>	<p>🔧 修理に関するご相談窓口</p> <p>フリーダイヤル 0120-878-554</p> <p>■上記電話番号がご利用 いただけない場合 03-6633-6700 ■FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-225</p> <p>QRコード</p> <p>便利な修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/</p>
--	---

- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検		長年ご使用の気化式加湿機の点検を！	
	<p>こんな 症状は ありま せんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 水漏れする。 ● 電源コードを動かすと、運転が止まる。 ● 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。 ● 本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする。 ● その他の異常や故障がある。 	<p>ご使用 中止</p> <p>事故防止のため、 運転を停止し、 コンセントから電源 プラグを抜いて、 必ず販売店に点検を ご依頼ください。</p>

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2017

Printed in China
KFP078770AH
M0517U1067